

インド工科大学ハイデラバード校整備計画（フェーズ２）【インド】

施策所管局課 国別開発協力第二課

評価年月日 令和６年４月

1 案件概要	
(１) 供与国名	インド共和国
(２) 案件名	インド工科大学ハイデラバード校整備計画（フェーズ２）
(３) 目的・事業内容 * 閣議決定日、供与条件などを含む	インド南部テランガナ州ハイデラバード市郊外において、インド工科大学ハイデラバード校（以下、「IITH」）の施設整備を行うことにより、教育・研究環境整備を図り、もってインドの工学・科学技術分野における人材育成、及び人的・学術的交流を通じた日印関係の強化に資するものである。 案件の内容 ・ビジネス・インキュベーションセンター、国際会議場、中央図書館、総合研究センター及び学科棟等の建設 ・対象施設に係る関連備品類の調達・据え付け ・総合研究センター及び学科棟のための研究機材の調達・据え付け ・コンサルティング・サービス ア 閣議決定日：平成 25 年 11 月 12 日 イ 供与限度額：177.03 億円 ウ 金利：1.40%（コンサルティング・サービスについては 0.01%） エ 償還（据置）期間：30 年（10 年） オ 調達条件：一般アンタイド
2 事業の評価	
(１) 経緯・現状	ア 社会ニーズの現状 本事業計画当初、同国の持続的な成長のため、理工学系の分野で十分な知識とスキルをもった優秀な人材を育成するため、また、優秀な学生の確保や国内外の教員の招へい等による人的・学術的交流を通じた日印関係の強化を実現するため、インド最高峰の教育機関である IITH の新キャンパスの整備が不可欠な状況となっていた。 これら教育機関における研究・教育水準の維持・向上等の開発課題は現在も顕在であり、同国産業の高度化の進展等、同国内における理工学人材育成、更には日印人的交流の重要性がさらに増していることから、本事業に関する社会的ニーズが引き続き認められる。

	イ 事業遅延に関する経緯・現状 事業実施機関による調達パッケージの見直し、コンサルタント調達手続きの遅延、豪雨による工事の遅延及び新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるさらなる工事遅延等、複合的要因により事業遅延が生じたが、現在土木工事は概ね完了し、建設支援を行った施設の一部は既に利用が開始されている。2024 年 2 月にはキャンパス施設の完工式典が開催され、2024 年 9 月に事業完了見込みである。
(2) 今後の対応方針	本件に関する社会的ニーズが引き続きあり、事業完成後は当初予定どおりの効果が見込まれており、事業の進捗を妨げていた要因は解決していることから、引き続き支援を継続する。
3 政策評価を行う過程において使用した資料等	・ 交換公文 ・ 外務省の約束状況に関する資料及び案件概要 ・ 政策評価法に基づく事前評価書 ・ 国際協力機構の案件検索 ・ 国際協力機構の事業事前評価表 ・ そのほか国際協力機構から提出された資料